

廃棄物処理分野の状況について

令和2年6月16日
環境省

- 政府の新型コロナウイルス感染症対策本部基本方針において、廃棄物処理は「国民生活・国民経済の安定確保に不可欠な業務」と位置付けられているところ。
- 環境省としても、医療提供体制の維持や国民生活・国民経済の安定のため、廃棄物処理体制の確保・現場での感染防止対策等に全力で取り組んでいる。

1 廃棄物処理における感染防止対策

- 新型コロナウイルスの感染防止策として重要である个人防护具の使用上の留意点等について、廃棄物の収集運搬に従事する方向けのチラシを作成、周知。
- また、廃棄物を処理する方の安全と安心を確保するため、収集運搬作業者の方向けの感染防止対策や、家庭・医療関係機関の方向けのごみの出し方を示すチラシを作成、周知。
- 新型コロナウイルス感染症の感染予防策に関して、処理側だけでなく、排出側においても留意すべき事項等について、家庭、医療関係機関、排出事業者、地方公共団体、廃棄物処理を行う方に向けたQ&Aを取りまとめ、周知。加えて、廃棄物処理業界団体において対策ガイドラインを策定。
- 廃棄物処理業における感染防止のため、業界団体や市町村に対してマスク等の防護具の調達先の斡旋等を実施。

ごみの収集運搬作業をされるみなさまへ
収集運搬作業における新型コロナウイルス対策

ごみの収集運搬作業においては、作業前、作業中、作業後に分けて次の対策を実施しましょう。

POINT 01 — “作業前”に心がける4つのこと —

- 健康管理・体調把握の実施**
十分な睡眠をとる等の健康状態や体調不良の有無を確認し、体調不良による作業の遅滞や感染リスクを減らしましょう。
- 3つの密の回避**
作業中は他人との十分な距離をとりましょう。また、ごまかずに作業前後の作業着の脱着と手洗いを徹底しましょう。
- 手袋、ゴーグル、マスク等の防護具の適切な着用**
作業着の脱着や手洗いの実施時に手袋やゴーグル、マスクを着用し、作業前後の作業着の脱着と手洗いを徹底しましょう。
- 肌の露出の少ない作業着（長袖・長ズボン）の着用**
作業中は、露出した部分の肌をなるべく隠すように作業着を着用し、手洗いを徹底しましょう。

POINT 02 — “作業中”に心がける4つのこと —

- 素手で触らない**
作業中に手袋やマスクを触らないように注意し、手袋やマスクの交換は、作業着の脱着と手洗いを徹底しましょう。
- こまめに消毒**
作業中に手袋やマスクを触らないように注意し、手袋やマスクの交換は、作業着の脱着と手洗いを徹底しましょう。

POINT 03 — “作業後”に心がける3つのこと —

- 消毒・洗浄の徹底**
作業後は以下を重点的に消毒しましょう！
- 車両の消毒・洗浄**
作業後は、作業着の脱着と手洗いを徹底し、車両の消毒・洗浄を徹底しましょう。
- 手洗いの徹底**
作業後は、手洗いを徹底し、手洗いの徹底を徹底しましょう。
- 車の換気（窓開け）**
作業中は、車の換気（窓開け）を徹底し、作業後の換気（窓開け）を徹底しましょう。
- 休憩の際の3つの密の回避**
作業中は、休憩の際の3つの密の回避を徹底し、作業後の3つの密の回避を徹底しましょう。

環境省
Ministry of the Environment

**新型コロナウイルスなどの感染症対策のための
ご家庭でのごみの捨て方**

— 家庭ごみを出すときに心がける5つのこと —

- ごみ袋はしっかりと縛って封をしましょう！**
ごみ袋はしっかりと縛って封をしましょう。封が破れやすい場合は、テープで補修しましょう。
- ごみ袋の空気を抜いて出しましょう！**
ごみ袋の空気を抜いて出しましょう。空気を抜くことで、ごみ袋の破裂や漏れを防ぎます。
- 生ごみは水切りをしましょう！**
生ごみは水切りをしましょう。水切りをすることで、生ごみの臭いを減らし、ごみ袋の破裂を防ぎます。
- 普段からごみの減量を心がけましょう！**
普段からごみの減量を心がけましょう。減量をすることで、ごみ袋の破裂や漏れを防ぎます。
- 自治体の分別・収集ルールを確認しましょう！**
自治体の分別・収集ルールを確認しましょう。分別・収集ルールを確認することで、ごみ袋の破裂や漏れを防ぎます。

新型コロナウイルスなどの感染症対策のための家庭でのごみの捨て方

- ①ごみ箱にごみ袋をかぶせ、しっかりと縛りつけておきましょう。**
ごみ箱にごみ袋をかぶせ、しっかりと縛りつけておきましょう。縛りつけておくことで、ごみ袋の破裂や漏れを防ぎます。
- ②ごみに触れることは避け、しっかりと縛りつけておきましょう。**
ごみに触れることは避け、しっかりと縛りつけておきましょう。触れることで、ごみの臭いを減らし、ごみ袋の破裂を防ぎます。
- ③ごみ箱を触った後はしっかりと手を洗いましょう。**
ごみ箱を触った後はしっかりと手を洗いましょう。手を洗うことで、ごみの臭いを減らし、ごみ袋の破裂を防ぎます。

以上を徹底して心がけてごみを出してください。ごみを出した後は、ごみ箱を触らずに、ごみ袋を回収する作業員の方まで、ごみの回収・安全確保・感染防止対策を行う上で大切にしてください。皆様のご協力をお願いします。

環境省
Ministry of the Environment

2 廃棄物処理業界における事業活動の状況

- 新型コロナウイルス感染症の影響として、家庭ごみは増加傾向。
- 一方で、事業活動により生ずるごみについては、全国規模の影響や外出の自粛要請により、オフィス、飲食店、商業施設、宿泊施設等からの事業系廃棄物の排出が減少。業種ごとに差はあるものの、おおむね減少傾向にある。
- このため、程度は一様ではないものの、廃棄物処理業者の経営への影響は出ていると認識。

- 業界からは、雇用調整助成金や事務所賃料の助成の要望があり、対応する支援策が今般の二次補正予算に盛り込まれているところ。
- 雇用のマッチングに関する要望はこれまで寄せられていない。
- 引き続き、業界関係者とのコミュニケーションを図りつつ、業界の経営に与える影響等を注視・把握していく。

<事業イメージ>

事業内容 1. 国立公園等において切れ目無く魅力的なツアー・イベントを準備・実施 (1,600百万円)

コンセプト

- 国立公園等の観光事業者の雇用の維持・確保
- 34国立公園等で200以上の新規ツアー等を企画・実施
- 約20万人の動員を想定

事業スキーム

- SDGs 目標達成にも資するエコツーリズム等を行うエコツーリズム事業者やDMO等に対し、①ツアー企画・実施費用の支援（特にワーケーション事業と連携するもの等の先進的なツアーの支援）、②特にコロナ収束前の段階から、海岸清掃・修景伐採・歩道修繕といったツアー準備に関する支援を実施
※DMO（観光地域づくり法人）
- 「国立・国定公園、温泉地でのワーケーションの推進」事業とも連携して実施
※宿泊や一次交通（鉄道、航空等）などの支援を実施する関係省庁と連携して実施
※観光庁等により収束前から観光喚起がされる場合は、前倒しで実施できるよう準備



星空撮影イベント



親子カヤック



ガストロミーウォーキング（500人程度参加）



事業内容 2. 国内外向け緊急プロモーションの実施 (800百万円)

コンセプト

- まずは国内向けに、国立公園等での遊び方といった魅力を伝えるプロモーションを実施。その後、感染症の収束状況を踏まえ国外プロモーションを実施。

事業スキーム

- 各種メディア等を活用したデジタルマーケティング（バナー広告等）による国立公園等の魅力を訴求するプロモーション等を実施。

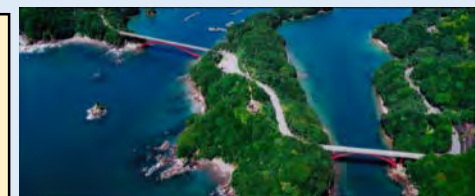
※1の実施が早まる場合は、それに合わせて前倒しで実施。観光庁、JNTOと連携して実施

※サステナブルツーリズムといったSDGs 目標の達成にも資するツーリズムは世界的に注目されている



BBCに広告など

プロモーションイメージ
（ドローン撮影）



背景・課題

- 国立公園等や温泉地でワーケーションが可能であることを発信することで、国立公園等で遊び、働くという新たなライフスタイルを示す。なお、新型コロナウイルスの流行以降、キャンプ場が更に人気となっており、温泉地の旅館でもワーケーション推進の機運が高まっている
- 新型コロナウイルスの流行拡大を受け、感染リスクの少ない自然の中でクリエイティブに仕事ができる場として国立・国定公園、温泉地の新たな魅力を打ち出す必要がある
- 加えて、大自然を有する国立公園等による心身のリフレッシュはもちろん、自粛により外遊びを控えていた子供達に国立公園等が『遊び場』としてアクティビティの提供が可能であることを発信し、社会の閉塞感の解消、旅行者増につなげ、地域経済を再生させる

事業概要

コロナ収束前から速やかに実施

①感染リスクの低いキャンプ場などの環境整備・ワーケーションの実施



②旅館等での環境整備

子供向けプログラム

※屋外では感染リスクが低いと考えられるが、政府の方針に沿いつつ、感染防止策を講じながら実施

コンセプト

34国立公園等のキャンプ場においてワーケーションの展開
子供も楽しめるプログラムを展開

事業スキーム

- ①ワーケーションツアー等の実施のための企画・実施費用の支援、②子供向けプログラム企画・実施費用支援、③PR費用支援、④キャンプ場でのワーケーションのためのWi-Fi等の環境整備支援

※ワーケーション可能なキャンプ場に関する情報発信は別途実施

※【各省連携】テレワークなどの支援を実施する関係省庁と連携して実施

事業効果

・ワーケーション推進に伴うロングステイ（現在の国立公園内平均宿泊数1.3泊）の実現により、コロナ収束前の誘客による地域経済の下支え、ワーケーションを通じ平日の観光地の活性化に寄与

コロナ流行収束後に実施

②旅館等でのワーケーションの実施



イメージ図（南紀白浜（白浜町））



イメージ図（鉄輪温泉（別府市））



イメージ図（鳴子温泉郷（大崎市））

コンセプト

キャンプ場での実施に加え、国立公園等・全国80カ所の国民保養温泉地の旅館等においてワーケーションを展開
子供も楽しめるプログラムを展開

事業スキーム

- ①ツアー等のための企画・実施費用の支援、②子供向けプログラム企画・実施費用支援、③PR費用支援、④旅館等でのワーケーションのためのWi-Fi、什器、スペース改装等の環境整備支援